１／２成人式の儀式～ある地方都市の場合

ｋｏｄｏｍｏｚｕｒｕｍｕｋｅ

この作品はR18描写を含むため、18歳未満の方は閲覧禁止です。

HinaProject Inc.

注意事項

【作品タイトル】
１／２成人式の儀式～ある地方都市の場合

【Ｎコード】
Ｎ０６６１ＣＭ

【作者名】
ｋｏｄｏｍｏｚｕｒｕｍｕｋｅ

【あらすじ】
とある地方都市で行われている、１０歳の男女を対象とした割礼の物語。

１月の半ば、全国で華やかな成人式が行われる。とある地方都市では成人式を含む３連休の間に１／２成人式の儀式が行われる。つまり対象となるのは１０歳の少年少女である。少年少女が向かう先は大きなホールや公民館ではない。指定された病院や保健所である。そう、１／２成人式の儀式というのは簡単にいえば割礼である。男子と女子は違う病院や保健所が指定されており、鉢合わせすることはない。義務とまではなっていないが、市が推奨していることから学校でも受けるように案内があり、大半の子が受けることになる。友達の多くが受けるのであれば自分だけ避けることは他人の目もあってやりにくい。子どもが多少嫌がっても、ほとんどの親は無理矢理子どもを連れて行ってしまう。費用も無償である。

　男子は包皮の先端を切り落とす処置を受ける。今後の成長を考え、亀頭が全露出するほど短く切ることはない。性器の先端の余っている包皮を切るだけなので、傷口も小さく処置もさほど時間がかからない。しかし性器に麻酔を打つわけだから、痛くないということはないし、麻酔がきれた後はそれなりに痛む。男子だけであるから、処置室の作りは簡単だ。予防接種をする時とほとんど同じで、パーテーションだけで仕切られている。ずぼんとパンツをぬいで籠にいれた少年はベッドに仰向けで寝る。すぐに消毒され、看護士が体を固定した上で細い針が包皮の先端に打ち込まれる。何人かに一人はここで泣き出してしまうものだ。医師は１人で二つのベッドを担当し、一人に麻酔が効いている間にもう一人の処置を行う。包皮の先端を引っ張り、適当なところに目印をつける。そしてハンドメスで先端をさっと切り落とす。すぐに止血をし、縫合される。麻酔が効いているから痛みはさほどない。籠の中のズボンとパンツをはいた少年はすぐ歩いて外に出る。痛みを感じるのは麻酔がきれた後だ。包帯がとれると亀頭の先端~半分程度露出した性器があらわになる。

女子もクリトリス包皮に切り込みをいれる。男子と違い、包皮の一部を切り取ることは基本的に行われない。副皮などと呼ばれる陰唇との間の余剰な包皮が見られる場合のみ、医師の判断で切り取られることがある。病院の構造や処置開始までの流れは男子とほぼ同じである。麻酔が包皮に打たれ、クリトリスを覆う包皮の一部にハンドメスで切り込みが入れられる。すぐに止血が行われ、傷は自然治癒を待つ。余剰な包皮があれば、速やかに取り除かれる。正直、男子と違って医学的な効果は無いとされているが、将来性感が増すといわれている。

肝心なのは医学的な効果よりも、通過儀礼としての一面である。股間にメスが入ることで、少年少女は男性・女性としての第一歩を歩き出すことになる。